

桑名市教育委員会議事録

令和8年1月26日（月）教育委員室において、桑名市教育委員会1月定例の教育委員会を開催した。

教育委員会の構成員（5名）

教育長 加藤 眞毅 教育委員 寺本 圭輔 教育委員 安藤 智里
教育委員 平野 智美 教育委員 服部 岳

教育部長	尾関 一夫	教育監兼学校教育課長	片山 哲哉
教育環境再構築プロジェクト担当	近藤 光彦	教育総務課長	石田 由佳
新たな学校づくり課長	笥 直樹	教育指導課長	山下 昌司
人権教育課長	水谷 公	新たな学校づくり課主幹 (小中一貫教育担当)	垣田 智一
学校教育課主幹 (保健給食担当)	田島 由紀	教育指導課主幹 (生徒指導担当)	山元 康伊

書記

伊藤 千恵

傍聴人

4人

議題

1. 協議事項

- ・学校給食について【非公開】

2. 報告事項

- ・12月市議会の報告について
- ・小中学校再編計画の当事者である子どもや教職員の思いや考えを聞き取ることを求める請願書
- ・多度地区小中一貫校整備事業について
- ・令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果速報について【非公開】
- ・小・中学校の様子について【非公開】

3. 連絡事項

- ・2月の教育委員会の行事予定について
- ・令和7年度第2回総合教育会議 2月16日（月） 午前9時00分
- ・2月の教育委員会定例会 2月16日（月） 総合教育会議終了後
- ・3月の教育委員会定例会 3月27日（金） 午前9時00分

【教育長】

それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和8年1月の教育委員会定例会を開催いたします。よろしく願いいたします。

議長は私が務めさせていただきます。

なお、教育長及び教育委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、本委員会は有効に成立していることを報告いたします。

まず初めに、12月議会において選任同意され、1月20日付で新たに桑名市教育委員会委員に就任されました寺本圭輔委員より一言御挨拶をいただきたいと思ひます。

(寺本委員挨拶)

【教育長】

ありがとうございました。

それでは、議事のほうを進めてまいります。

本日の議事のうち、非公開とさせていただきたい事項がございます。事項書を御覧ください。

事項書の1番、協議事項、学校給食について、事項書の2番、報告事項、令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果速報について及び小・中学校の様子についての3件でございます。

学校給食については、検討段階の情報となります。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果速報については、公表前の情報となります。

小・中学校の様子については、児童生徒の個人情報を含むものとなっております。

したがいまして、これら3件については、桑名市教育委員会会議規則第5条の規定により、会議を非公開としたいと思ひます。

会議を非公開とすることについて、挙手により採決をいたします。

非公開とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

【教育長】

ありがとうございます。

全員一致により、本件については非公開とすることに決しました。

よって、これら3件については公開案件の後に事務局から説明を受けることといたします。

それでは、事項書の2番、報告事項、12月市議会の報告について、事務局から説明をお願いいたします。

【教育部長】

教育部長の尾関です。よろしくお願ひします。

令和7年第4回市議会定例会が12月3日から12月24日までの会期22日間で行われました。一般質問といたしましては、11名の議員の皆様から質問をいただきました。教育内容、学校運営に関わって、不登校児童生徒と保護者の支援について御質問をいただきました。不登校児童生徒が学校外で学ぶことについて、国の方針に基づきまして、出席扱い又は成績評価を行っているということ、それから、フリースクールの通学費の支援につきましては、現在、桑名市では行ってはおりませんが、フリースクール等と学校との連携は今後強化してまいりたいというようなこと、それから、保護者の困り感に寄り添った相談機会などにつきましては、今後、民間の支援施設もござひますので、そちらの情報把握と連携に努めていくというようなことを御答弁申し上げております。

そのほか、ネットでの出席制度について、ポジティブな声かけの取組について、郷土愛を育む教育について、教科書バリアフリー法について、インクルーシブ教育について、学校体育館への空調機器の設置について、それから、女性のウェルビーイングにつながる学校教育について、香害、香りの害についての質問をいただいております。

また、学校再編に関わりますと、多度学園の開校に向けて、それから、多度学園の検証について、

小学校統合の基準について、意見交換会について、小学校間や地域間の交流について、市民への周知、子どもの声を踏まえた取組について、説明会のアンケートについて等々の質問がございました。

その他、教育委員会規則についての質問をいただき、それぞれ御答弁申し上げております。

また、令和7年度一般会計補正予算の計上いたしましたものにつきましては、全て可決承認をいただいておりますので、御報告いたします。

私からは以上です。

【教育長】

それでは、ただいまの説明について御質問、御意見はございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、次の議事に進みます。

事項書の2番、報告事項、小中学校再編計画の当事者である子どもや教職員の思いや考えを聞き取ることを求める請願書について、事務局から説明をお願いいたします。

【教育次長（教育環境再構築プロジェクト担当）】

教育環境再構築担当の教育次長の近藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。

小中学校再編計画の当事者である子どもや教職員の思いや考えを聞き取ることを求める請願書について御報告いたします。

請願者は、桑名の教育を考える会の清水礼子さんで、12月26日に提出され、これを受理いたしました。

請願の趣旨といたしましては、本年3月に策定を予定しております桑名市立小中学校再編計画について、子ども用説明動画を作成し、児童生徒のタブレットに配信されてはいるものの、子どもたちの意見や思いを聞き取る手だてが不十分であり、直接感想や意見を言う場が設けられていない。また、教職員も同様であるということから、こども基本法や桑名市こどもの権利条例にあるように、子どもや教職員の思いや考えを丁寧に聞き取り、施策に反映してほしいといった内容でございます。

請願事項としては5つございます。

順に、まず1つ目、全ての小学校、中学校で桑名市小中学校再編計画について、子どもと教職員向けの説明会を開催してください。

2つ目、説明会では、学校規模や学年の実態に応じて、全校で学年ごと、クラスごとなど、子どもたちが理解しやすく、質問や意見が出しやすい環境をつくってください。

3つ目、小学校の低学年、中学年、高学年、中学校と年齢差があるため、分かりやすい言葉やイラストなどを使って、学年単位の分かりやすいパンフレットを作成して丁寧に説明し、分かりやすく回答してください。

4つ目、会場で子どもや教職員の質問や意見を聴くだけでなく、子どもや教職員にアンケートを取ったり、別の機会に意見を聴いたりする場を設けてください。

そして、最後の5つ目、説明では、小学校がなくなること、明正中学校や成徳中学校がなくなること、小学生と中学生が一緒に校舎で勉強する義務教育学校になること、1,000人以上の学校になること、学校までの距離が長くなり、バス通学をする地区も出てくることなど、計画の内容を該当する小学校区に照らし合わせて、具体的に説明してください。

以上でございます。

請願の内容について、現在行っています教育委員会の対応といたしましては、まず、委員の皆様も御承知のとおり、本計画は学校の将来構想であり、実際に学校再編を行う時期、地域、期間など、具体的なことは決まっていないということがございます。

このような中、児童生徒に対しては、市が考えている学校再編がどのようなものか分かりやすいよう、子ども用説明動画を作成し、子どもたちの思いや感想などを表明できる場を設けております。また、本動画は、児童生徒のタブレットに子ども用説明動画へアクセスするアイコンを加えており、校長会議において、授業での活用及び児童生徒への家庭での視聴をお願いしております。

さらに、教育委員会事務局からは、保護者用連絡ツールtetoru（テトル）を用い、家庭での視聴などをお願いしており、みんなの前で思いを発表することが苦手な子どもたちへの配慮も考えております。

また、教職員におきましては、校長会議や教職員組合に対し、原案や原案をまとめた概要版を配付し、説明を行うとともに、教職員向けの説明を望まれるのであれば、対応する旨もお伝えしているところでございます。

加えて、現在、パブリックコメントを実施しております計画案についても各学校に配付しており、原案からの変更点などの説明等を行っております。

以上が現在までに行ってきた対応でございます。

このことから、提出されました請願事項につきましては、児童生徒に対しては、子ども用説明動画やその活用において、請願事項は満たしておると考えております。また、教職員においても同様と考えております。

なお、具体的な説明につきましては、将来構想である計画の策定の段階で行うことはできませんが、実際に学校再編を進めていく地域等が決定した場合は、多度学園のときもそうでしたが、地域住民だけでなく、各学校で子どもたち同士による意見交換の場の設置や、教職員との意見交換や協議などを丁寧に行っていくものと考えております。

本請願についての報告は以上でございます。

なお、本請願には、最後でございますように、教育委員会への付議を求める申入れが添付されておりましたので、併せて御報告いたします。

報告は以上でございます。

【教育長】

それでは、ただいまの説明について御質問、御意見はございませんでしょうか。

【安藤委員】

近藤さんから詳しく説明をいただいたのですけれど、子ども用の説明動画についてもう一回教えてほしいのですが、子どもたちがタブレットを開いたら、それが出るみたいな感じになっているということなんですね。

【教育次長（教育環境再構築プロジェクト担当）】

はい。

【安藤委員】

それと、意見の表明しにくい子のためにtetoru（テトル）という話があったんですけど、大人でも子どもでもそうですけど、大きな声の方の話は入ってくるけど、それぞれがどう思っているかなというのをつかんでいくのがとても大事だと思うので、それをどうしてみえるのか、もう一度お願いします。

【教育次長（教育環境再構築プロジェクト担当）】

tetoru（テトル）というのは、学校では先生方から児童生徒に対して、学校で使っているタブレットにアイコンを設置したので、そこで動画が見られるよということを周知、そして、もしそれを授業で使っていただけるのなら授業で使っていただきたいということをお願いしています。

tetoru（テトル）というのは、学校からは子どもたちにはお伝えしていただいたんですが、保護者に対してお伝えする、要は連絡用のツールとなっております、保護者に対しても家庭で、学校再編、こういったことを市が考えているんだよということ子どもと一緒に見ながら、御理解いただくということで、保護者向けの連絡ツールを用いて、こういったことをやっていますということを御連絡させていただいております。

あと、子どもさんの中には、授業の中でも、発言しにくい、引っ込み思案な子どもさんというのともみえると思いますので、子ども用動画には、見ていただいて、自らがそこに意見を書き込める、感想を書き込めるような形をとっておりますので、授業で言えなかった意見というのは、動画のほうに意見を書き込めるというような形になっております。

以上でございます。

【安藤委員】

ありがとうございます。よく分かりました。

保護者向けの連絡ツールがtetoru（テトル）ということですか。

【教育次長（教育環境再構築プロジェクト担当）】

そうです。

【安藤委員】

分かりました。

重ねて質問させてもらっていいですか。

運用状況というか、なかなかこちらではつかみにくいかも分かりませんが、各学校でこんなことをしたよとか、子どもはこれぐらい見ている、子どもが見た数が分かるとか、そういうわけではないのでしょうか、という運用状況と、書き込まれたものがあればとか、書き込まれていなくてもいいんですけど、子どもの反応、子どもの声ってどんな声が届いていますでしょうかということをお伺いしたいです。

【教育次長（教育環境再構築プロジェクト担当）】

今現在、12月末までですけれども、お子様、子どもさん、生徒児童のお声としては473件ほどいただいているところでございます。その中で、学校再編に直に関連してくる感想といたしましては300件ほどございまして、残りの150件ほどというのは、今の学校についての感想、もうちょっとエアコンを効かせてよ、であったりとか、先生方への感謝であったりとか、そういった意見が含まれているところがございます。

意見としては、早く新しい学校になりたいとか、中学生の方ですと、低学年の方と一緒にやると楽しそうとか、面倒を見たいとかというような肯定的な意見もございまして、やっぱり中学生からの意見としては、中学校ではテストがある中で、そのテスト期間中に小学生が騒いだりしないかということで不安だと。新しい学校になるのは良いけれども、そういったところが不安であるとか、小学生の子どもさんたちでいくと、今の学校は仲が良いから、要は再編することによって違う学校の生徒が入ってくることで、その仲が崩れてしまうんじゃないかとか、そういうところが不安で再編は嫌だというようなところがあつたりとか、距離が遠くなるから嫌だというような、様々な御意見をいただいております。

こちらのほうは、12月末現在までの子ども用の動画の意見、感想を取りまとめたものにつきましては、ちょうど先週の金曜日にホームページにアップさせていただきましたので、また御覧いただければと思います。

以上でございます。

【教育長】

ほかはどうでしょうか。よろしいですか。

それでは、次の議事に進めてまいります。

事項書の2番、報告事項、多度地区小中一貫校整備事業について、事務局から説明をお願いいたします。

【新たな学校づくり課主幹（小中一貫教育担当）】

新たな学校づくり課主幹の垣田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年末に発行しましたかわら版37号により、多度地区小中一貫校整備事業の進捗状況について御報告いたします。

まず、表面を御覧ください。

いよいよ4月に開校ということで、昨年秋を中心に取り組まれた4小プロジェクトにおきましても、子どもたちの関わり合いがより生まれるよう、学年ごとに工夫がなされておりました。

内容といたしましては、教科で学習した内容を発表し合う学年や、図工や生活科で工作したもので一緒に遊ぶ学年、また、アイスブレイクをしてから自己紹介をし合う、そういった活動に取り組む学年があつたりと、4月から一緒に過ごすことを見越して、円滑な移行が図れるよう取り組まれておりました。裏面を御覧ください。

開校準備委員会や地域連携部会におきましても準備を進めていただいております。開校準備委員会で

は校舎の建設現場を視察していただきました。また、地域連携部会においては、開校後を見据えまして、多度地区の地域学校協働活動につなげていけるように部会内でも準備をただいま進めていただいております。

また、先生方による教育指導部会においては、開校準備だよりというお便りの発行を通して、保護者の皆様に学校生活の様子をお伝えするとともに、開校後の学校運営に向けた様々な活動の実施計画等も御準備いただいているところでございます。

また、通学に関わって、各バス停の利用者数が定まりましたので、バスの時刻が確定いたしました。保護者の皆様には小学校を通じてこれから御案内される予定です。また、地域の皆様に向けても、各自治会の回覧等を通じて、バス停の位置であるとか、子どもたちの乗降する時刻等をお知らせする予定でございます。

最後に、閉校メモリアル企画といたしまして、地元のケーブルテレビ局の協力を得て、記念番組づくりが現在進められております。閉じ行く学校の校歌を切り口に番組の制作が進められ、その制作費の一部については、返礼品を設けたクラウドファンディングにて募集をしながら、多度にゆかりのある方をはじめ、応援いただける皆様からの御支援を募っているところでございます。その連動企画といたしまして、思い出の校歌を歌ってみた動画を投稿する、募集する企画であったりとか、多度の小中学校の校歌について、思い出エピソードをSNSに投稿するような企画も立ち上がっております。

詳しくは市のホームページに御案内がありますので、よろしければ、一度御覧いただけたらというふうに思っております。

報告は以上でございます。

【教育長】

それでは、ただいまの説明について御質問等ございますでしょうか。

【安藤委員】

裏側の開校に向けた準備のあたりの話で、分団登校とか気になったんですけど、そういうバスの運行も、どこのバス停で何人が乗ってとかというのも準備が進んでいるようなんですけど、小学生と中学生は別々に、分団登校について教えてください。

【新たな学校づくり課主幹（小中一貫教育担当）】

基本的に、小学校前期課程につきましては、一部地域はスクールバスを活用してのバス通学、それで、そうでない地域については、学校を中心に半径1.5キロメートルで区切っているんですけども、それについては今までどおり、小学生は前期課程の子どもたちでの分団登校というふうになります。

後期課程、いわゆる中学生の生徒さんたちの登校につきましては、これまで同様で、特に分団等は設けておりませんので、それぞれの朝の時間に合わせて各自で生徒が登校する、自転車通学であったり、徒歩通学であったりはありますが、登校するということになりますので、現状、前期課程と後期課程と一緒に分団登校するというような計画にはなってございません。

【安藤委員】

分かりました。

【教育長】

ほか、どうでしょうか。

【安藤委員】

開校に向けた準備のところ、今現在、開校までのいろんな整備とか準備とかというので、地域の方が入ってみるとか、ボランティアの方が入って、いろいろ整備をしてみえるとかということはあるのですか。今現在です。開校までの準備のボランティアさんというか、地域の方が来て、何かお手伝いをする。開校準備委員会での話合いだけでなく、実際に体を動かして何かをしてみえるという方はみえるんですか。

【新たな学校づくり課主幹（小中一貫教育担当）】

開校準備委員会や地域連携部会以外のところということですよ。

例えば多度中小学校で、図書の本をたくさん新しい学校へ持っていく本、また、持っていかない本ができてくるんですが、そういった選別作業なんかには、図書室整備のボランティアの皆様方に集まっていただいて作業していただいているというところもございますので、そういうところでそれぞれの学校で助けていただいておりますというところです。

【安藤委員】

関連していいですか。

学校の在り方とか、校舎の感じとかというのもさることながら、そういう地域の方とか保護者の方の学校への関わり方のすごいモデルになっていくと思うんです。なので、最初の頃のそういう人たちを集めてくるのが、今がチャンスかなとすごく思いますので、今とか、それから、1年、2年目あたりが。自分のところの、我が村の学校がなくなるとか悲しい思いをしてみえる方もたくさんみえると思うので、そういう方にぜひ新しい学校に関わっていただいて、みんなで盛り上げていきたいと思います。機運がつかれるといいなと思うんです。

例えば、新しい学校の図面を見せていただくと、とても素敵な感じなんですけど、カクカクと入り組んでいて、死角がすごく多そうなので、ちょっとそれが心配で、出会い頭の事故であったりとか、そういう見えないところで何か起きないだろうかとかと思いますし、それから、1年生が自分の教室へチャイムが鳴ってから行けるのだろうかみたいな、迷子にならないだろうかというのがすごく心配なんです。なので、草取りしながら、チャイムが鳴ってもその辺にうろろしている子がいたら、ちょっと連れて行ってあげるとか、迷子サポートボランティアみたいな、そういうのを、それこそ内覧会とかがあったときに募って、気軽に学校に来てくださいみたいな感じになるといいなと。

そもそも園庭が広そうですし、イメージ図ではとてもきれいに整備になっているけど、実際にそれを維持していくのはすごく大変だと思うので、だから、そういう地域の方の、保護者もそうですが、地域の方の力がたくさん集められるといいなというふうに思っています。

【教育長】

何かありますか。

【新たな学校づくり課主幹（小中一貫教育担当）】

おっしゃるとおりだと思います。新しくできる学校、地域で1つ、義務教育学校として再出発というか、多度地区の地域の皆さん、保護者の皆さんと一緒に関わっていただけるような学校づくりを目指してまいりたいと思います。ありがとうございます。

【教育長】

ほかはどうでしょうか。

【寺本委員】

初めての会議で、もう既に確認されていたら申し訳ないんですが、これだけ大きな再編ですか、学校を統合して大きなものをつくっていくという中で、過程の中で、教員、職員も含めて様々な問題とか、課題とか、もうちょっとこうすればよかったとか、いろんなことが起きてくると思うんですよ。です。4月を迎えて、その後でもいいと思いますので、いろいろな、先ほど安藤委員もおっしゃっていましたが、地域の方も含めて、子どもも含めて、次の桑名市全体で再編をするときに向けて、その記録を残しておくというか、修正、課題を残しておくというところはすごく大事ななというふうに思いましたので、次の再編のためにぜひできる限りでよろしく願いいたします。

【教育長】

ありがとうございます。

ほか、よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、次の議事に進みます。

事項書の3番、連絡事項、教育委員会の行事予定について、事務局から説明をお願いいたします。

【教育長】

予定については以上となります。

それでは、ここからは非公開とした議事に移らせていただきます。

傍聴人の方は御退室をお願いします。

【非公開】

- ・学校給食について
- ・令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果速報について
- ・小・中学校の様子について

【教育長】

それでは、以上をもちまして、令和8年1月の桑名市教育委員会定例会を終了させていただきます。
ありがとうございました。

—— 9時45分終了 ——